大　和
モ　デ　ル

児童生徒の“自分らしく学び、
自分らしく生きる”を目指します。

R8　佐賀県立大和特別支援学校



公式キャラクター
「やまとん」

◎子どもの行動を細やかに見ます

・子どもの行動には必ず理由があり、子どもの思いが含まれています。行動だけに注目するのではなく、前後に何があったのかにも目を向けて、その理由や子どもの気持ちを理解するように努めましょう。
・注意を引くための不適切な行動に対しては、望ましい行動をしたときに関わり、褒めるようにしましょう。
・子どもの小さな変化にも目を向けて、すぐに具体的に褒めるようにしましょう。

◎子どもに分かるように伝えます

・伝えるときのポイントは、まず、子どもの注意をこちらに向け、視覚的に、具体的に、短く、分かりやすい言葉を使いましょう。
・大事なことは、繰り返し伝えたり、いつでも確認できるように視覚的に示しておいたりしましょう。
・伝わったかどうか、その後の子どもの行動を見て判断し、伝わっていないときは、伝え方をもう一度考えてみましょう。

◎年齢に応じた接し方をします

・名前を呼ぶときは、「〇〇さん」と呼びましょう。
・年齢相応な接し方を心掛けましょう。
・子どもとの適切な距離を心掛けて接しましょう。

◎子どもを肯定的に見ます

・好きなことや得意なことを生かし、伸ばしていくようにしましょう。
・「どうすればできるか」を探り、子どもの可能性を引き出しましょう。
・必要なときに必要な支援をするようにし、子どもが一人でできることは、見守りましょう。
・子ども一人一人のペースや個性を大事にしましょう。

◎安心できる環境づくりをします

・見通しをもって行動できるように、一日や活動の流れを示したり、動線や物の配置をわかりやすくしたりしましょう。
・言葉掛けをするときは、穏やかに、適度な声の大きさでゆっくりと、肯定的な表現で話すようにしましょう。
・音や光などの苦手な感覚や人の声や動き、気になる物などの刺激に対しては、必要に応じて調整するようにしましょう。

◎子どもの人権を大切にします

・子どもの気持ちや意思を大事にし、自分で選択したり決めたりすることができるようにしましょう。
・個人情報の取り扱いには気をつけ、公の場で話さないようにしましょう。

◎チームで支援をします（一人で抱え込まない）

・子どもの様子や情報について関わる大人で共有をし、複数の視点で見たり、対応をしたりして子どもの成長を支えましょう。
・学級や学年、学部全体で子ども達を支援していくようにしましょう。
・同じ支援ができるように支援方法を共有しましょう。
・保護者や関係機関と連携をし、学校以外での子どもの様子も知るようにしましょう。